

# 流域治水プロジェクトについて

- 河川管理者、都道府県、市町村、企業等からなる協議会において、河川整備に加え、流域の市町村などが実施する雨水貯留浸透施設の整備や災害危険区域の指定等による土地利用規制・誘導等、都道府県や民間企業等が実施する治水ダム等の事前放流等、治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水の計画的な推進に向け連携を図る。



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

## 流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川堤防や遊水地等の整備
- ・治水ダムの建設・再生
- ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・海岸保全施設の整備
- ・治水ダム等の事前放流
- ・治水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備 など

### ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・高台まちづくりの推進（線的・面的につながった高台・建物群の創出）
- ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導 など

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
- ・要配慮者利用施設（医療機関、社会福祉施設等）の浸水対策
- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持 など

あらゆる関係者が協働して、「流域治水プロジェクト」を策定し、実行

# 庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

最終とりまとめ版イメージ

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 日本経済を支える産業集積地域である反面、日本一のゼロメートル地帯を有する流域であり、水害リスクが高い流域であることから、橋梁改築(狭窄部対策)や公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水(東海豪雨)および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、洗堰分派対策、放水路整備
- ・用排水路の改修
- ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
- ・流出抑制対策  
(既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築 (関係者:国、土岐川防災ダム一部事務組合など)、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備、森林保全等)
- ・土砂災害対策  
(砂防施設の整備、治山施設の整備等)
- ・内水被害軽減対策  
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールの検討等)

## ● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組  
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導等)
- ・浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策  
(浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布等)

## ● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期復旧に備えた対策  
(防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備、大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用等)
- ・被害軽減対策  
(公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、水位周知下水道の指定・運用、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、水害リスク空白域の解消、土砂災害警戒区域等の指定・周知等)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組  
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組等)
- ・ソフト対策のための整備  
(危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設等)



※大臣管理区間以外は、県・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。  
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
 ※上記の対策は代表的な事例を記載している。

# 庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

最終とりまとめ版イメージ

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

● 庄内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削や雨水排水網の整備等により、清須市や名古屋市下流部で浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・被害対象を減少させるための対策として、浸水防止堀設置の支援や立地適正化計画への防災指針の位置づけ等を推進する。
- ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、公園等を活用した高台の整備や水害リスク空白域の解消に向けた中小河川における浸水想定区域の指定を推進する。

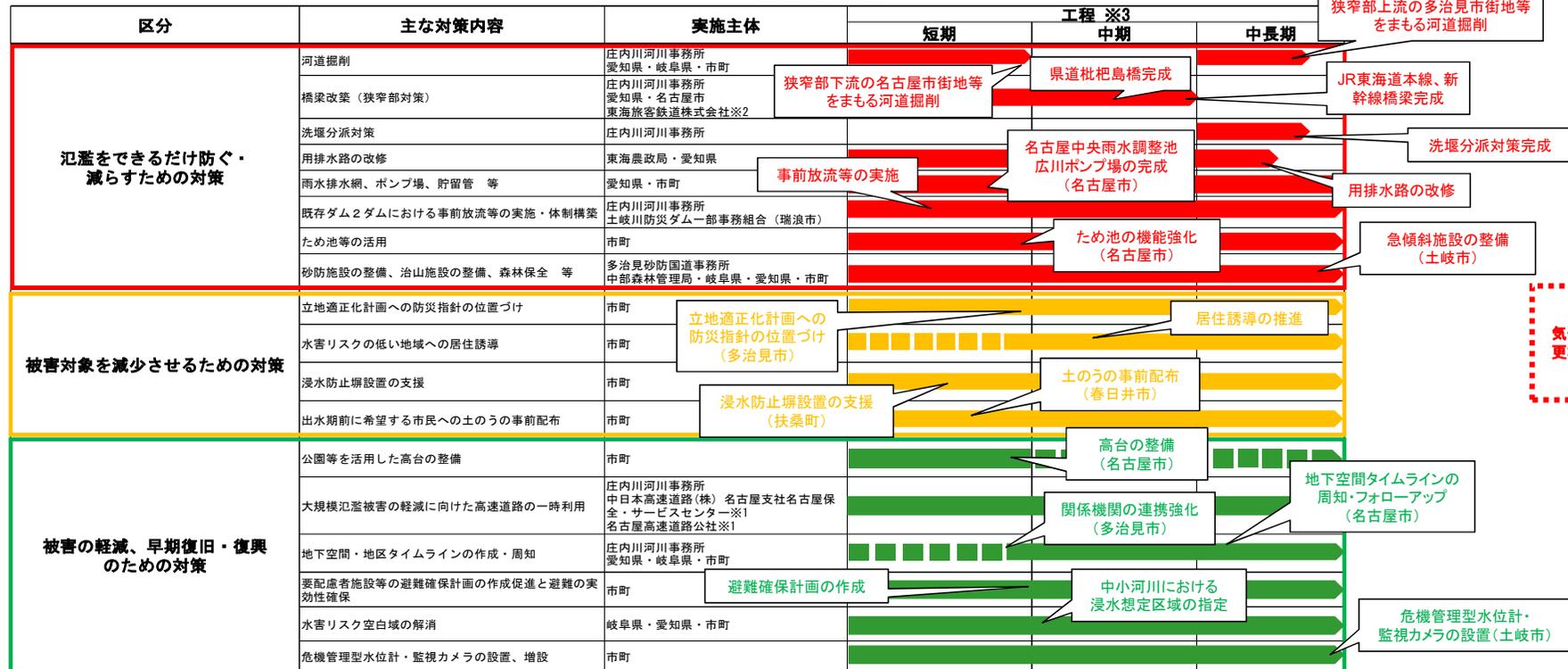
【中期】

- ・短期に引き続き、狭窄部対策(橋梁改築(JR新幹線橋等3橋))等により、名古屋市下流部での浸水被害の解消を図るとともに、防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり水害リスクの低い地域への居住誘導の推進や、中小河川における浸水想定区域のハザードマップへの反映等を行う。

【中長期】

- ・さらに、洗堰分派対策や狭窄部上流の河道掘削等により、中下流域の浸水被害解消を図るとともに、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策についても引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。



※1: 実施主体ではないが、オブザーバーとして連携する機関    ※2: 実施主体ではないが、連携する機関    ※3: 各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載

# 高梁川水系流域治水プロジェクト【位置図】

最終とりまとめ版イメージ

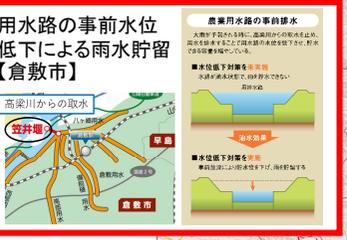
～平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と岡山の観光・工業の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高梁川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 高梁川は、下流部に岡山第二の都市の倉敷市街地が広がり、全国屈指の石油・鉄鋼等のコンビナートの水島工業地帯や岡山県一の観光地の倉敷美観地区があるなど、流域の観光・工業の基盤を成している。一方で、下流部は干拓等により形成されたゼロメートル地帯が広がり、河川氾濫が発生すると甚大な浸水被害が発生する恐れがある。また、小田川は河床勾配が緩やかでありバックウォーターの影響を受けるため、浸水被害が度々発生している。
- 平成30年7月洪水では浸水被害が発生したことを踏まえ、小田川合流点付替えや河道掘削、用水路の事前水位低下による雨水貯留の他、浸水リスクを考慮したまちづくり、マイ・タイムライン等による防災教育などを推進する。
- 以下の取り組みを実施していくことで、大臣管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指す。



## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

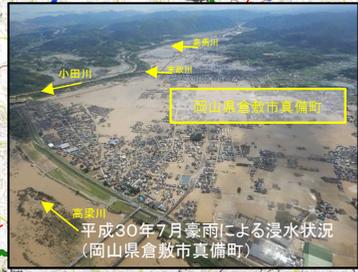
- ・ 堤防整備、堤防強化、河道掘削、小田川合流点付替え、笠井堰改築【倉敷市、岡山県、広島県、中国地整】
- ・ ポンプ場の耐水化・耐震化【岡山市】
- ・ 下水処理場、ポンプ場（汚水・雨水）の耐水化計画策定の検討【倉敷市】
- ・ 貯留施設の新設【岡山市】
- ・ 雨水幹線の新設、雨水排水路の断面拡大【岡山市、井原市、新見市】
- ・ 雨水排水路の新設【総社市】
- ・ 排水ポンプの新設・増設・改良【岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、矢掛町】
- ・ 用水路から雨水管理への取水ゲートの遠隔操作化【岡山市】
- ・ 可搬式排水ポンプの配備【岡山市、井原市、総社市】
- ・ 土砂流出対策施設の整備【岡山県、広島県、近畿中国森林管理局】
- ・ 利水ダム等20ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【岡山県、中国電力(株)、土地改良区等】
- ・ ダム放流施設の機能増強【中国四国農政局】
- ・ 用水路の事前水位低下による雨水貯留【岡山市、倉敷市、早島町】
- ・ 改修を行う農業用ため池について活用を検討
- ・ 大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・ 補助制度を活用した流出抑制や各戸貯留施設設置の推進【岡山市、倉敷市】
- ・ 森林の整備による洪水緩和機能の適切な発揮【岡山県、広島県、森林整備センター、近畿中国森林管理局】
- ・ 透水性舗装を用いた歩道整備、貯留施設・透水性舗装の検討【岡山市、倉敷市、中国地整】等



- ## ■ 被害対象を減少させるための対策
- ・ 立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市、総社市、高梁市】
  - ・ 浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定の検討【倉敷市、新見市、矢掛町】
  - ・ 災害リスクが高いエリアの土地利用規制・建築規制等の検討【倉敷市】



- ## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・ 止水板設置に対する助成【岡山市】
  - ・ 水害リスク情報空白域の解消・縮小【岡山県】
  - ・ 防災まちづくり総合支援事業費補助金の活用、推進【高梁市】
  - ・ 防災拠点施設、避難路の整備【倉敷市、総社市、新見市、岡山県】
  - ・ 緊急時の避難場所の確保【倉敷市】
  - ・ AI技術を活用した避難支援システムの開発【高梁市】
  - ・ LINEやSNS等を活用した被害状況の共有【倉敷市、総社市】
  - ・ SNSを活用した避難情報の発信【倉敷市、矢掛町】
  - ・ 防災行政無線の音声スマートフォンアプリへ配信【早島町】
  - ・ 関係機関が連携したタイムラインの運用、改善
  - ・ 水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供
  - ・ 全市立小学校で逃げキッドを教材に採用【倉敷市】
  - ・ マイ・タイムライン等による防災教育
  - ・ 要配慮者マイ・タイムラインの普及【倉敷市、中国地整】
  - ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
  - ・ 総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
※浸水想定区域は、洪水予報河川及び水位周知河川を表示している。

# 高梁川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

最終とりまとめ版イメージ

～平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と岡山の観光・工業の中心地を守る流域治水対策の推進～

- 高梁川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰し、流域に関連する機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】真備緊急治水対策プロジェクトによる河川のハード対策の完了により、再度災害の防止を図る。また、浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討や計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進を図る。被害軽減策については、水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供、マイ・タイムライン等による防災教育などを実施し、逃げ遅れゼロを目指す。
  - 【中期・中長期】高梁川水系下流・中流・上流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進及び上記の被害軽減策について、継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高梁川下流部の浸水被害を防止するため、堤防整備を実施	中国地整	高梁川下流部	小田川合流点付替え事業完了	
	真備緊急治水対策プロジェクトの推進	中国地整、岡山県、倉敷市	小田川・末政川・高馬川・真谷川・大武谷川・背谷川・内山谷川		河川整備基本方針(に向けて対策を推進)
	改良復旧事業の推進	岡山県	高梁川		
	高梁川水系下流・中流・上流部の浸水被害を防止・軽減するため、河道掘削、堤防整備等を実施	中国地整 岡山県 広島県	河道掘削を実施(広島県)	高梁川水系下流部(高梁川) 高梁川水系中流・上流部(高梁川・小田川・稲木川・林田川)	成羽川
	内水被害を軽減するため、排水ポンプの新設・増設・改良、雨水排水路の断面拡大等を実施	岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、矢掛町			
	土砂流出対策施設の整備	岡山県、広島県、近畿中国森林管理局			
	利水ダム等20ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	岡山県、中国電力(株)、土地改良区等			
	大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成	岡山市			
	用水路の事前水位低下による雨水貯留	岡山市、倉敷市、早島町			
	被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討	岡山市、倉敷市、総社市、高梁市、新見市、矢掛町	立地適正化計画策定済み(岡山市、総社市、高梁市)	
災害リスクが高いエリアの土地利用規制・建築規制等の検討		倉敷市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供	岡山県、広島県、中国地整	WEB配信の実施 適切な維持管理と継続的な提供(岡山県、広島県、中国地整)		
	マイ・タイムライン等による防災教育	市町(岡山県、広島県、中国地整)	防災教育の実施(市町) 出前講座等の実施(岡山県、広島県、中国地整)		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

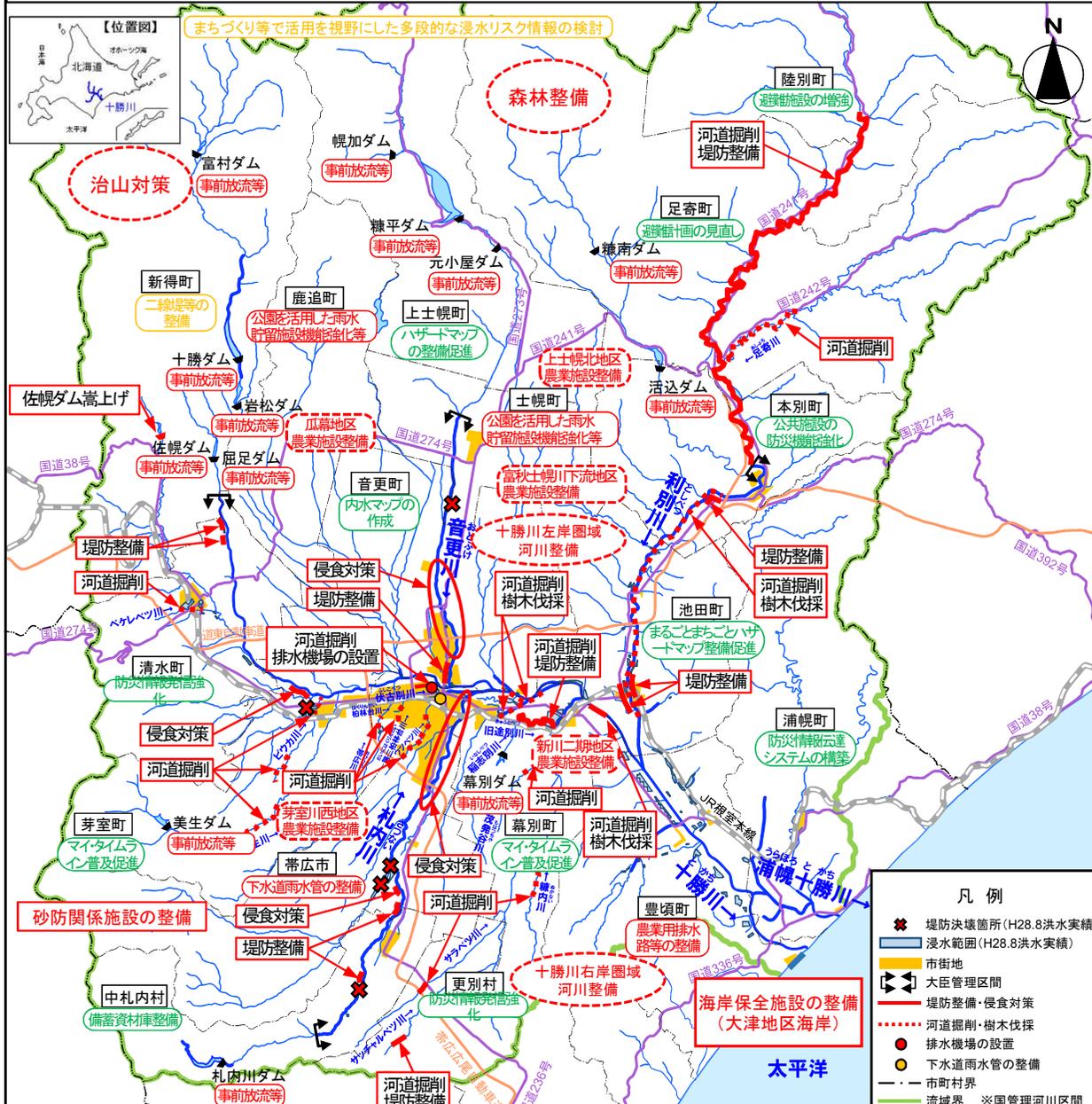
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 十勝川水系流域治水プロジェクト【位置図】

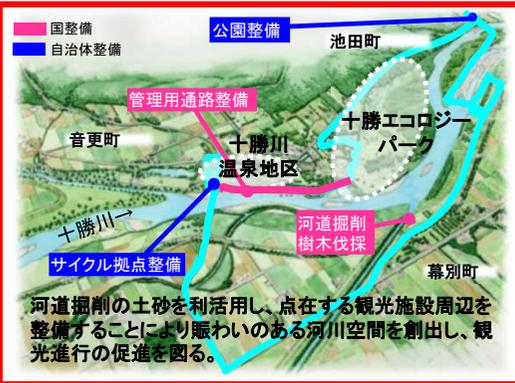
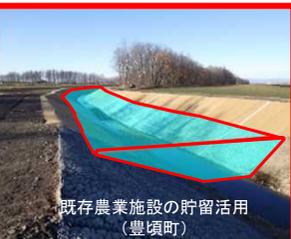
最終とりまとめ版イメージ

～我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るための治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、十勝川水系においても、日本の重要な食料供給地である十勝圏の既存農業施設の治水活用や被害軽減のための避難等の対策を含む事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、音更川、札内川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成28年8月洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- ### ● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・堤防整備、河道掘削、侵食対策、排水機場設置、佐幌ダム嵩上げ
  - ・既存ダム13ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、北海道、市町村、電力会社、水道事業者など）
  - ・砂防関係施設の整備
  - ・雨水貯留に活用できる農業用排水路等の整備
  - ・治山対策
  - ・森林整備
  - ・津波・高潮対策（海岸整備）
  - ・流出抑制対策
  - ・下水道雨水管等の整備 等



- ### ● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・備蓄資材庫整備
  - ・避難施設の増強
  - ・内水マップの作成
  - ・避難計画の見直し
  - ・マイ・タイムラインの普及促進
  - ・まるごとまちごとハザードマップの整備促進、水害リスク空白域の解消に向けた取組
  - ・防災情報発信強化 等

- ### ● 被害対象を減少させるための対策
- ・二線堤等の整備検討
  - ・まちづくり等で活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討



まるごとまちごとハザードマップ整備促進(池田町)

内水マップ作成イメージ(音更町)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 十勝川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

最終とりまとめ版イメージ

～我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るための治水対策の推進～

● 十勝川では、H28. 8洪水対応を踏まえた緊急治水対策プロジェクトは概ね完了したところであり、引き続き、我が国を代表する食料生産基地である流域の特徴を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、道、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 十勝川流域の人口・資産が集中する中流域での重大災害の発生を未然に防ぎ、かつ、内水被害軽減のため、水位低下を目的とした河道掘削及び排水機場整備等を主に実

施するとともに、公園を活用した雨水貯留施設機能強化及び下水道雨水管の整備のほか備蓄資材庫整備等を実施予定。

【中期】 十勝川中流部の浸水被害を防ぐため河道掘削及び洪水調節施設としてダム再開発を主に実施するとともに、二線堤の整備検討及び内水マップの作成等を実施予定。

【中長期】 支川下流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を主に実施し、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策及び被害対象を減少させる対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の人口・資産が集中する十勝川中流部を守る河道掘削及び堤防整備	帯広開発建設部 十勝総合振興局	十勝川中流部		
	十勝川左岸圏域及び右岸圏域の市街地等を守る河道掘削及び堤防整備	帯広開発建設部 十勝総合振興局	利別川等		
	十勝川右岸圏域の市街地等を守るダム再開発	十勝総合振興局	佐幌ダム嵩上げ		
	帯広市街地を守る排水機場整備	十勝総合振興局	排水機場整備		
	市街地等を土石流から守る土砂災害対策	帯広開発建設部 十勝総合振興局	砂防設備の整備		
	雨水貯留に活用でき、湛水被害の軽減を図る食料安定生産のため農業施設整備	帯広開発建設部 十勝総合振興局	上士幌北地区・富秋士幌川下流地区・瓜幕地区 新川二期地区・芽室川西地区		
	山地災害から流域を守る治山対策	北海道森林管理局 十勝総合振興局	治山施設等の整備		
	森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備・森林保全対策	北海道森林管理局 十勝総合振興局、市町村 森林整備センター 等	植栽・間伐などの森林整備を実施		
	津波に対する背後地の浸水被害を防止し民生の安定を図る津波・高潮対策（海岸整備）	十勝総合振興局	豊頃海岸大津地区		
	河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策	上士幌町 豊頃町 等	公園を活用した雨水貯留施設機能強化等（士幌町） 農業用排水路等の整備（豊頃町）		
	浸水被害の軽減を図り市街地を守る下水道浸水被害軽減対策	帯広市 等	下水道雨水管の整備（帯広市）		
	被害対象を減少させるための対策	新得町	二線堤等の整備検討（新得町）		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	早期復旧に備えた対策	帯広開発建設部 十勝総合振興局 中札内村 等	備蓄資材庫整備（中札内村）	
被害軽減対策		池田町 音更町 等	まるごとまちごとハザードマップ整備促進（池田町） 内水マップの作成（音更町）		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 流域治水プロジェクトにおける関係省庁等との連携①

○あらゆる関係者と協働し、流域全体で治水対策を推進するため、河川管理者等によるハード・ソフト一体となった事前防災を加速。

## 河川管理者等による取組

堤防整備



ダム建設・ダム再生



砂防関係施設整備



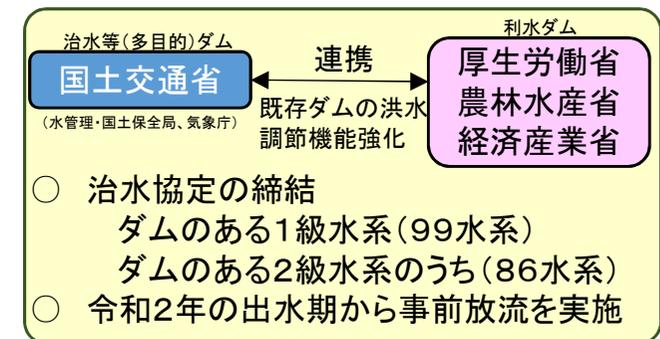
海岸保全施設整備



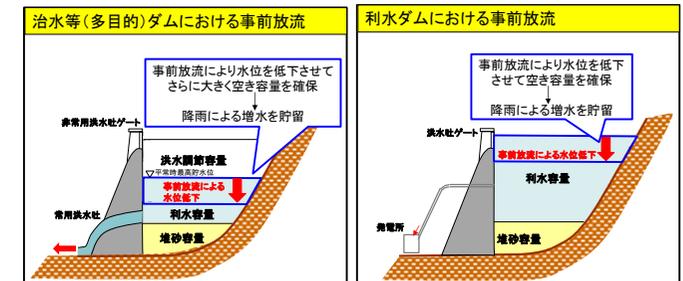
【農林水産省・経済産業省（資源エネルギー庁）・厚生労働省と連携】

【治水協定の締結、事前放流の運用開始】

- 発電、農業、水道など水利用を目的とする利水ダムを含めた全てのダムが対象。
- ダムに洪水を貯める機能を強化するための基本方針を策定（令和元年12月）



- 治水協定の締結  
ダムのある1級水系(99水系)  
ダムのある2級水系のうち(86水系)
- 令和2年の出水期から事前放流を実施



## 流域治水プロジェクトにおける関係省庁等との連携②

○河川管理者等が主体となって行う治水事業をこれまで以上に充実・強化することに加え、あらゆる関係者と協働し、流域全体で治水対策に取り組むため、他の省庁との連携を推進。

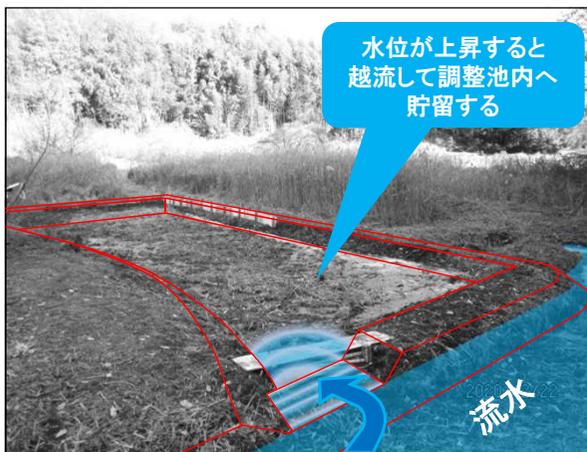
### 【農林水産省関連施策との連携】 ※約90水系で連携予定



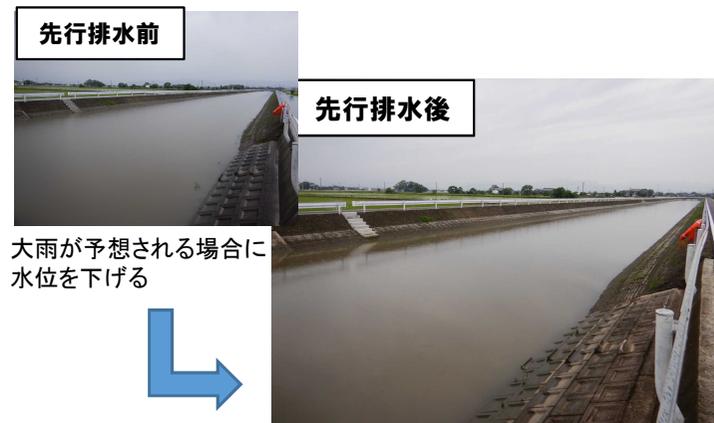
水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)事業  
【加古川水系】



ため池の活用  
【六角川水系】



休耕田による調整池機能の整備  
【鶴見川水系】



大雨が予想される場合に  
水位を下げる

農業水利施設の整備・有効活用(クリークの利用)  
【筑後川水系】

### 【財務省関連施策との連携】

※3水系で連携予定



自然遊水機能を有する国有地の活用検討  
【石狩川(下流)水系】

### 【林野庁関連施策と連携】

※全ての水系で連携予定



荒廃した溪流への治山対策  
【紀の川水系】

※令和3年3月時点の連携予定数であり、今後、他省庁との連携を更に推進

## 流域治水プロジェクトにおける関係省庁等との連携③

- 校庭貯留や防災教育、自然地の保全との連携など、様々な関係機関との連携も実施。
- 令和2年度中に策定するプロジェクトに基づき、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層加速化するとともに、対策の更なる充実や協働体制の強化を推進。

### 【教育関係機関との連携】



流出抑制対策(校庭を調節池として利用)  
【利根川水系】

小学校における防災教育  
【吉野川水系】

### 【国立公園との連携】



貯留・遊水効果がある自然地の保全  
(釧路湿原の遊水効果)  
【釧路川水系】

### 【福祉関係機関と連携】



要配慮者利用施設の  
避難確保計画作成の促進  
【鳴瀬川水系】

要配慮者等への  
災害時の支援体制の整備  
【揖保川水系】

### 【消防機関と連携】



水防訓練の実施  
【小瀬川水系】